

日本子ども虐待防止学会

第24回 学術集会 おかやま大会

想いをつむぐ



会期

2018年11月30日(金)・12月1日(土)

会場

2018年11月30日(金) 倉敷市民会館 JR倉敷駅から美観地区を通り
徒歩約15分

2018年12月1日(土) 川崎医療福祉大学 JR中庄駅から徒歩約15分

大会長

御牧 信義 (倉敷成人病センター 小児科主任部長)

大会ホームページ

<http://www.med-gakkai.org/jaspcan24/>



演題募集

2018年3月16日(金)～5月31日(木)

事前参加登録

2018年3月16日(金)～9月30日(日) 大会ホームページでご登録ください

参加費

事前登録 会員 9,000円 非会員 10,000円 学生 3,500円
当日登録 会員 11,000円 非会員 12,000円 学生 3,500円

主催

一般社団法人 日本子ども虐待防止学会
日本子ども虐待防止学会 第24回学術集会おかやま大会実行委員会

お問い合わせ

おかやま大会事務局(倉敷成人病センター内) TEL: 080-9794-2111 FAX: 086-422-4150
✉ kmccrmc@gmail.com



主なプログラム

特別講演「子どもに対する暴力の撤廃 ～目標に向けた関係者の協働～」



2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」は、2030年までに「子どもに対するあらゆる暴力を撤廃する」ことを掲げ、世界中でこの目標達成に向けた取組みが始まっています。この新たな世界的な動きでは、あらゆる関係者の協働の重要性が強調されています。私たちはそこから何を学び、日本で実践すべきかを共に考えたいと思います。

大谷 美紀子 先生 (国連子どもの権利委員会委員)

国際プログラム



「米国での子ども虐待
発生防止への地域社会の関与
The Family Connects Program」

(Duke 大学)

Ben Goodman 先生



「子どもの性虐待に関する
医学的評価

～診断と治療のニーズに応える
ためのヘルスケア専門家の役割～」

(Rowan 大学 小児科終身教授)

Martin Finkel 先生

- ◆記念講演 **act1** 福祉と文化と芸術 ～倉敷で見付けたいもの～
act2 岡山県済世顧問制度創設 100 年の歴史

◆大会企画シンポジウム

子どもの貧困その1：地域資源の交わりが生み出す子どもの権利擁護
子どもの貧困その2：子どもにとってのSDGs（持続可能な開発目標）から見える道
新しい社会的養育ビジョンを考える
平成 29 年児童福祉法改正と司法関与 ～弁護士と裁判所の役割～
虐待対応における子どもの意見表明権 ～児童相談所と司法のあるべき姿～
未来に向けて虐待発生を防ぐために教育が担うべきこと
児童福祉に対して精神科医療ができること

◆教育講演

エビジェネティクス ～その基礎から児童虐待まで
～ DNA だけによらない遺伝のしくみ
発達障害と愛着形成障害との類似と相違
研究実施に必要な法と倫理を理解する
妊娠中からの虐待防止 ～社会的ハイリスク妊産婦連絡システムから～
フィンランドの「ネウボラ」と「早期ダイアログ」
～子ども虐待防止に資する切れ目ない支援～
児童虐待調査報告書の役割と社会への影響 ～イギリスの経験に学ぶ～
チャイルド・デス・レビュー ～『CDR 運営ガイドライン骨子 JaSPCAN 案』について～

※演題名は変更されることがあります。

ACCESS おいでんせえ、くらしき



※朝の時間帯は渋滞による遅延が予想されます。大会 2 日目に倉敷・岡山から川崎医療福祉大学へお越しの際は JR 線をご利用ください。